

わんぱく学園ニュース

令和5年 3月・4月号 No.216

10年に一度と言われる寒波を迎えた日本列島。

そんな中、我が家敷内にある古墳（山崎古墳）のまわりや道端あちこちにひっそりと咲きはじめる紫色の小さな花・・・そう・・・スマレの花が咲く頃 _____。

花言葉は「謙虚」「誠実」「小さな幸せ」とか。

ひかえめで奥ゆかしく咲く姿に由来しているようです。

学園生 スマレの如し 謙虚さを

～土江和世～

「キンモクセイの香り」

青柳雄介（ジャーナリスト）

「まさか自分が……」

そんなまさに寝耳に水の、突然の出来事だった。昨年7月20日、午後10時過ぎ。自宅で、依頼を受けた原稿の下調べをしていた。

いきなり激しいめまいと吐き気に襲われ、天井や壁が猛烈な勢いでグルグルと回り始め、床に倒れ込んだ。左の手足に力が入らずまったく歩くことができない。

自分で救急搬送を要請し病院に収容されると、脳梗塞を発症しており

そのまま入院を余儀なくされた。小脳と脳幹に梗塞が認められるという。このときは、自分が死とすぐ隣り合わせにいると、あるいは、回復できたとしても、車イス生活になると、覚悟を決めざるを得ず、かなり落ちこんだ。投薬治療を受けながら、不自由になった左の手足のリハビリがすぐに始まった。それらが奏功したのか、2週間も経つと病状がかなり落ち着いてきた。手すりにつかまりながら歩けるようになったし、精神的な凹みも小さくなってきた。

1ヵ月後、リハビリ病院へ転院した。そこで驚きの光景を目の当たりにした。実に多くの方がリハビリに取り組んでいたのだ。車イスに乗り、あるいは杖を頼りに、歩行器を用い、みな必死に歩こうとしていた。しかも、みな自分よりかなりの高齢者だ。自分の親世代の80歳代が多いようだった。動かない足を懸命に前に出そうともがいていた。もし歩けるようになるとしても相当な時間が必要と思われた。胸が締め付けられた。しかし、多くの方の表情は明るく未来に向いているように感じた。リハビリスタッフと冗談を言い合う人もいた。

自分も負けないように、毎日3時間のリハビリに取り組んだ。心の澄んだリハビリスタッフの献身的なサポートのお陰で杖を使えば歩けるまでに回復し、私は1ヵ月半で退院することができた。病院のエントランスを抜けると、鼻腔に芳香が広がった。キンモクセイだった。歩道に橙色の小さな花がぎっしり咲いていた。季節は夏を過ぎ秋になっていた。芳醇な香りを嗅ぎ、病室を出てきたというのに気が重かった。病院に残って必死にリハビリに取り組んでいる人たちのことが気がかりだったのだ。

いま私は杖なしで歩けるまでに回復した。が、まだ足を引きずって苦

労してはいるが。

病気で要らない荷物が増えてしまった。しかし、人の一生は要らない荷物を負うて、遠き道に行くことがごとし、なのかもしれない――。

【あおやぎ・ゆうすけ プロフィール】

1962年 東京生まれ。法政大学文学部卒。出版社勤務、雑誌記者を経て、フリーのジャーナリストに。社会や福祉などの問題に取り組む。

わんぱく学園の土江和世理事長とは、大阪での取材の際に出会い、以降、公私ともにお付き合いをさせていただいている。



当法人アーティスト

中尾真紀子 作:スミレの花

■ 3月&4月の「わんぱく学園」のメニュー

月 日	内 容	
3月5日(日)	□雛人形を作ろう ～折り紙で雛人形を楽しみながら作らない?～ 集合場所:アトリエ「おちらと」	会費100円 担当:角末美
3月12日(日)	□紙ひこうき作り ～天まで届け～!～ 集合場所:アトリエ「おちらと」	会費100円 担当:土江和世、坂根玄明
3月19日(日)	□春を見つけに行かなあ～い? ～どんな花が咲いているのかな?(菜の花) 行先:斐川町富村～ 集合場所:アトリエ「おちらと」	会費100円 担当:岩浅利正
3月26日(日)	□歩きながらごみ拾いしよう! ～地域の方へ感謝の気持ちを込めて～ 集合場所:アトリエ「おちらと」	会費100円 担当:土江和世、坂根玄明
4月2日(日)	□桜のお花見しない?・ごみ拾いもね ～愛宕山公園の桜 きれいに咲いてるのかな?～ 集合場所:アトリエ「おちらと」	会費100円 担当:角末美
4月9日(日)	□春を描いてみない? ～かわいい色々な色のチューリップさん 待ってるかな?～ 集合場所:アトリエ「おちらと」	会費100円 担当:土江和彦
4月16日(日)	□おちらとカフェ ～晴れたらブルーベリーの花の下で～ 集合場所:アトリエ「おちらと」	会費100円 担当:土江和世、坂根玄明
4月23日(日)	□勾玉(まがたま)作り ～木でできた勾玉(まがたま)を作ろう!～ 集合場所:アトリエ「おちらと」	会費100円 担当:岩浅利正
4月30日(日)	□ お休み	

*集合時間:9時50分 集合場所:指定の場所へ来てくださいね。

※すべてコロナの拡大防止のために、中止、変更がありますから、1週間前に事務局まで確認してください。

問い合わせ&発行元

〒691-0031 出雲市東福町156-1 NPO法人サポートセンターどりーむ

TEL & FAX: 0853-62-4872 メール: sc-dream-kt@sky.plala.or.jp